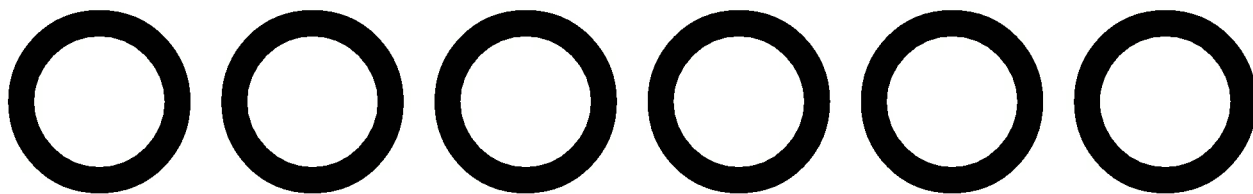


中区版



浜松市 区版避難行動計画

【この冊子ですべて欲しい3つのこと】

1 避難場所を決める

①「1. 災害から身を守る」を読む

P1~P16

②家族で避難場所を考え、巻末の「防災マップ」の地図やメモ欄に記入する

避難経路の決め方はP〇へ
防災マップは巻末へ**2 防災マップを目の付きやすい所に貼る**

「防災マップ」に避難場所などを書き込んだら、毎日目にする災害時も安全な所に貼る

3 My 防災カードをつくる

「防災カード」に、自分の名前、緊急連絡先、避難所などを記入し、かばんや財布などに入れて常に携帯する（家族みんながそれぞれ携帯しよう！）

防災カードは巻末へ

- ※ページ数は変更になることがあります。
- ※イラスト、図面などについては仮の内容です。
- ※この資料をご一読ください。会議当日は冊子の構成や内容（特に「1. 災害から身を守る」）についての話し合いを行います。
- ※タイトルについても当日話し合いますのでアイデアをお考えください。

平成24年〇月

- 目次 -

1.災害から身を守る	1
中区の災害特性	1
災害時の避難行動	3
地震	3
風水害	7
土砂災害	11
中区防災施設マップ	15
2.災害に備える	17
情報を得る	17
事前にできること	19
災害時に役立つ知識	22
要介護者のためにできること	23
自主防災隊への参加	24
3.わが家の防災チェック	25
避難経路の決め方	25
チェックリスト	25
(別添)防災マップ、防災カード	

1. 災害から身を守る 中区の災害特性

丘陵地

- 標高が概ね0m以上の、三方原台地と呼ばれる丘陵地やがけ地からなります。
- 洪積台地と呼ばれる、砂やれき(砂より粒の大きい砂利)からなる地質で、比較的強い地盤です。
- しかし、地盤の風化が進んでいる場合もあり、急傾斜のがけ地など、がけ崩れに注意が必要です。

新川・権現谷川・段子川沿い および区の南部

- 標高が0mから0mの、海岸平野と呼ばれる平坦地です。
- 沖積地と呼ばれる、泥、砂、れきが堆積した地質で、地下水位が高く、軟弱な地盤の所が多く見られます。
- 地震時は、液状化現象が発生する恐れがあります。

馬込川沿い

- 標高が0mから0mの、天竜川の土砂が堆積した平坦地です。
- 砂やれきが堆積した地質で比較的強い地盤といわれています。
- 馬込川沿いの低地であり、大雨時は浸水などの被害の恐れがあります。
- 特に近年は、短時間に大雨が降り、河川が増水するケースが多く見られます。



災害時の避難行動

地震

中区では東海地震が発生した場合、震度6弱～震度6強の揺れが予測されています。日ごろから家族などで避難方法について確認をしておきましょう。

地震発生後の避難方法

※この避難の流れは、本策定会議を通じてまとめていきます

地震発生

緊急地震速報を聞いたら(テレビ・ラジオなど)

まず自分の身を守る

YES・NOであなたのとるべき行動を確認してください

チェック1
今、いるところがかげ崩れや津波による浸水の恐れがある危険な場所だ

YES

ただちに近くの安全な場所へ避難

例) 浸水に備え、高台や鉄筋コンクリート造などの丈夫な建物の上階に避難
津波警報発令中は避難場所から動きません

NO

チェック2
自宅が壊れて住めない状態である
余震などで自宅が倒壊しそうである

YES

一次避難地へ
一次避難地とは

火災など一次避難地に危険が迫っている!

一次避難地に開設される避難所で生活
避難所とは

YES

広域避難地へ
広域避難地とは

チェック3
自宅に火災が迫っている

YES

NO

自宅に待機

※自宅付近の安全が確認できれば自宅に待機しましょう。

避難地が分からない人・・・P●へ

東海地震の情報を聞いたら

東海地震に関連する調査情報



東海地震注意情報



東海地震予知情報



こんなときどうする ～とっさの判断～

1. 屋内にいる

家の中



イラスト

家の中の安全ゾーンを作っておき、逃げ込む

避難口確保のためにドアを開ける

大きな地震から身を守るために、普段から家具の固定や家具の配置の工夫などを行うことが大切です
→ ページへ

エレベーターの中

火を扱っていたら

デパート・スーパー

ビル・オフィス

地下街

2. 屋外にいる

路上

避難地に向かうときは・・・

- ・家の火の元を確認
- ・家のブレーカーを切る
- ・ヘルメットや防災ずきんをかぶる
- ・非常持出品の確認
- ・余震などで看板やガラスなどの落下に注意
- ・崩れそうなブロック塀に注意
- ・電線に触らない

住宅街

電車やバスなどの車内

車の運転中

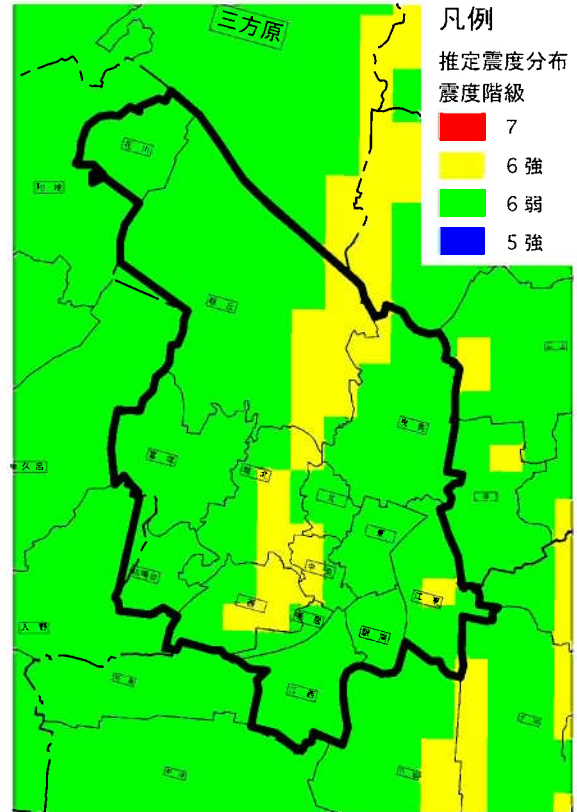
中区における東海地震の被害想定

地震の揺れ（静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月）より）

右図は、推定される東海地震が発生した場合に、各地域で予想される震度を気象庁震度階級に合わせて推定したものです。

中区は概ね震度6弱から震度6強が想定されています。

各震度のイメージ

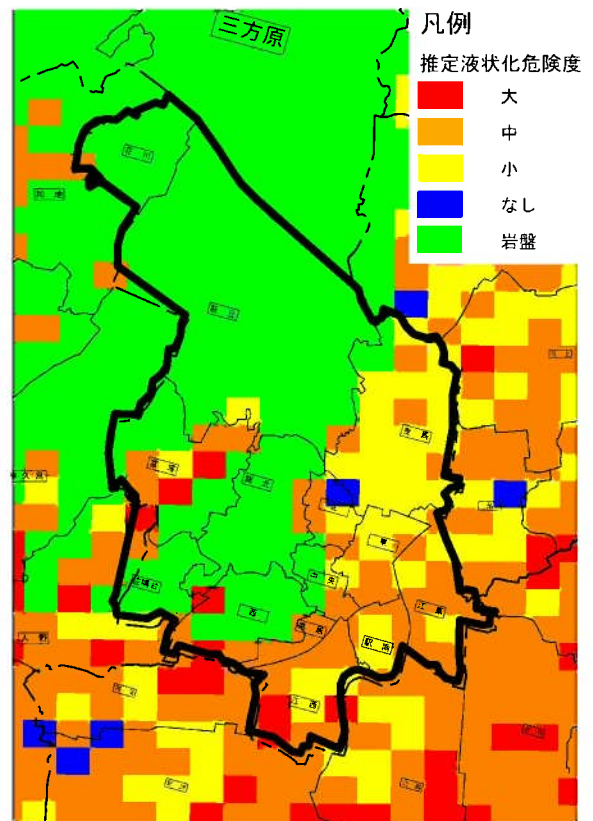


液状化危険度（静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月）より）

右図は、推定される東海地震が発生した場合に、各地域で予想される地盤の液状化危険度を4階級に区分したものです。

中区では、区南部の海岸平野において、危険度が高くなっています。

液状化とは





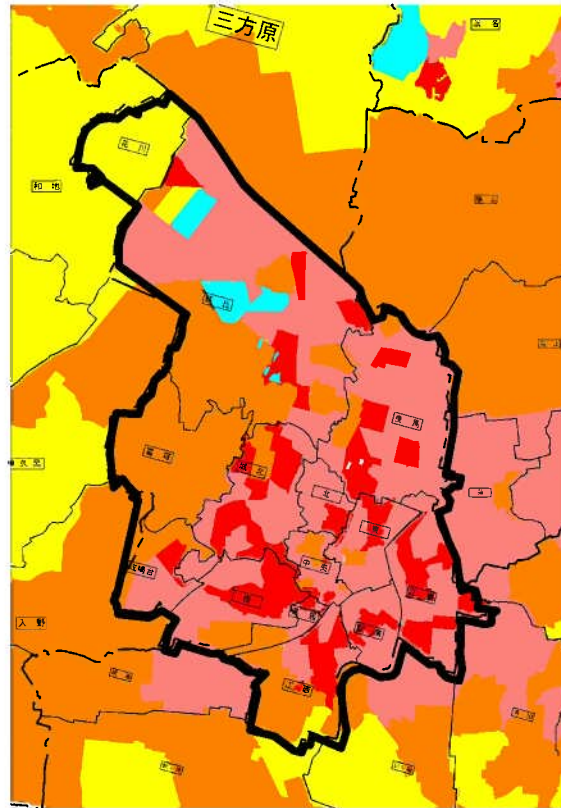
推定火災危険度（静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月）より）

右図は、推定される東海地震が発生した場合に、各地域で予想される火災延焼について、その地域が持つ危険性を想定しています。

中区は木造密集市街地等が分布しており、延焼危険度が高いエリアが多く見られます。

推定火災延焼危険度図 凡例

内容	アイコン
木造建物がほとんど存在しない地域が多く、延焼拡大する危険性はかなり低い。	
木造建物がある程度存在するものの、空地が多いため、延焼拡大する危険性は低い。	
木造建物がある程度存在するものの、空地又は耐火造建物等が多いことから延焼拡大しても早期に焼け止まり、大規模な延焼火災は発生しにくい。	
木造建物が多く存在するため延焼拡大しやすいが延焼拡大しても地域内で焼けどまりやすいと考えられる。	
木造密集地域であり建ぺい率も高いため、火災が発生すると延焼拡大を続け、地域のほぼ全域が消失する危険性がある。	



津波（静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月）および静岡県津波高想定（平成24年8月）より）

※中区における想定を掲載

風水害

激しい雨の時、台風の際は水害に警戒を！

自分が住んでいる場所に危険が迫ったら、避難情報を待たずに避難しよう！

降雨の状況や河川の水位上昇の状況から、自分が住んでいる場所の危険を判断しましょう。

避難時の注意点

時間がある場合

近所の人と一緒に避難所へ

時間がない場合 避難所が遠い場合

冠水が始まっている状況や雨の激しい時、強風時は外に出るのは危険！

天竜川の氾濫の場合 ⇒ 近くの頑丈な高い建物の2階以上に避難
中小河川の氾濫の場合 ⇒ 自宅などの2階以上に避難

暴風・竜巻などの時は

土砂災害にも注意

避難する前に連絡を！



動きやすい服装で避難



車は控えて歩いて避難



浸水箇所を歩行する時は

たとえ10cmの浸水でも足元が見えず危険！

浅くても注意

足元に注意

地下道に注意！

危険な場所には近づかないで！

増水した河川は大変危険！
危険な場所に近づかず、自宅で見守る水位情報を入手しよう

静岡県土木総合防災情報「サイボスレーダー」

ホームページアドレス ○○○○○○○○○○○○○○○○○

付近の河川で情報が得られる地点

河川名	観測所	水位 (m)		
		氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位
天竜川	掛塚橋	2.60	—	—
天竜川	中ノ町	1.60	3.40	3.70
馬込川	松江	3.10	3.40	3.88
馬込川	新橋	3.10	—	—

The screenshot shows a web interface for river monitoring. It features a large video window showing a river with a bridge (松木橋). To the right, there are several data panels: '平常時 [参考]' (Normal time [reference]) with a photo of the river; '水位データ' (Water level data) with a line graph showing water levels over time; and '雨量データ' (Rainfall data) with a bar chart showing rainfall amounts. The interface includes navigation buttons like '< 30分前へ' and '30分後へ'.

平常時の河川の様子

30分ごとの水位データ

現在の河川の様子

雨量の情報 (時間雨量、累積雨量など)

雨の降り方と雨量（1時間）の目安

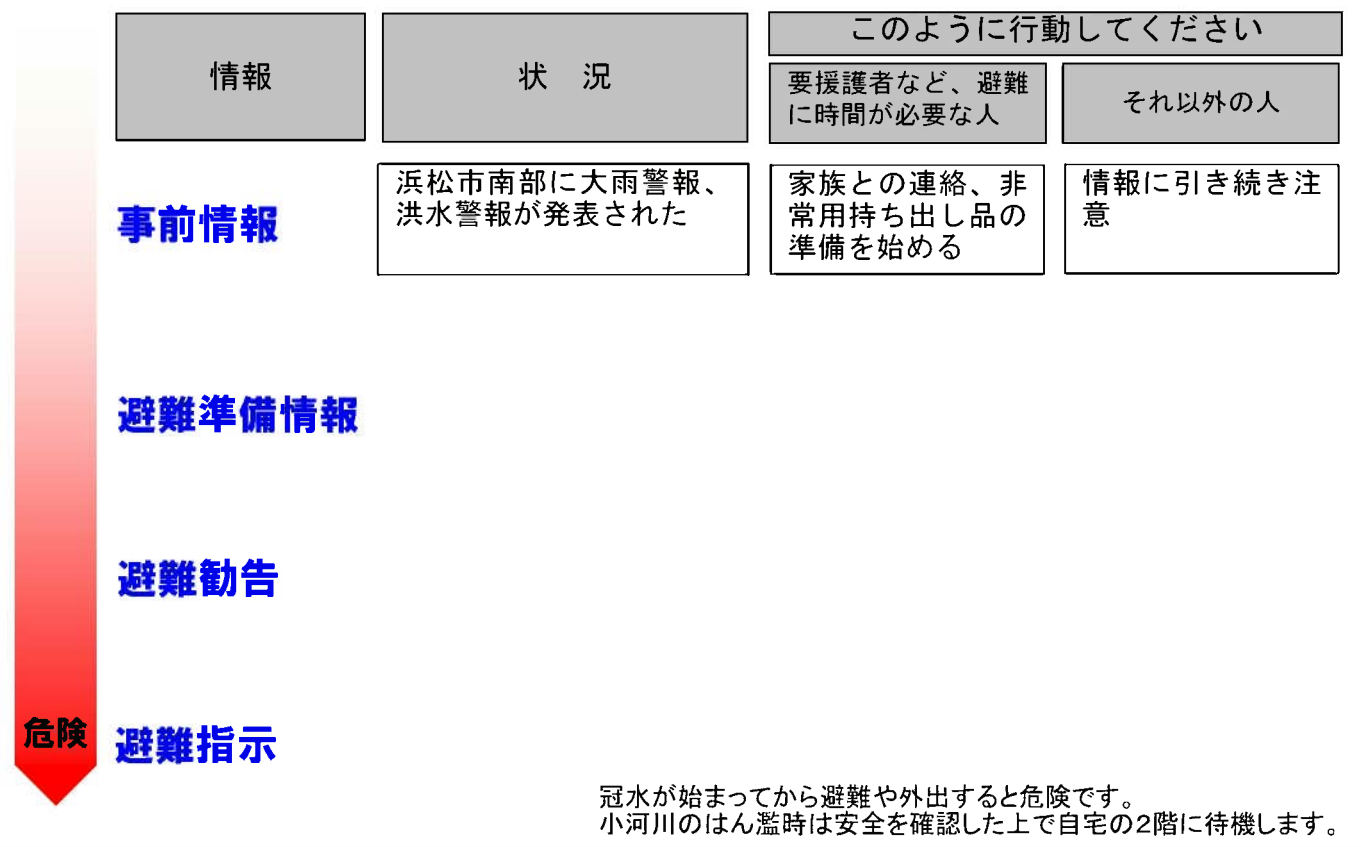
停電時は携帯ラジオなどで情報収集を
川や崖地の近くの方は、大雨となる前が避難のタイミング

おおよその 1時間雨量	雨の降り方のイメージ	
5～10 ミリ	イラスト	雨がトタンを打つ音が聞こえ、あちこちに水たまりができる
10～20 ミリ	イラスト	雨音で話がよく聞き取れない。一面に水たまりができる
20～30 ミリ	イラスト	土砂降りですぐ側溝があふれ、小さな川の氾濫が始まる
30 ミリ以上	イラスト	バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れやがけ崩れがおきやすい

避難情報が入手できる場合

避難情報はあくまで参考情報として
危険を感じたら自分の判断で避難を！

馬込川など河川の近くにお住まいの方、低い土地に住んでいる方は特に気をつけて情報を聞いてください。天竜川の情報にも注意しましょう。



避難情報とは

避難情報	意味
避難準備情報	<ul style="list-style-type: none"> 河川はん濫の情報への注意喚起を促し、避難のための準備を呼びかける情報 避難に時間のかかる要援護者などは避難を呼びかける情報
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> 河川がはん濫する危険のある水位に達する恐れがあることを知らせ、避難を促す情報
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> 河川のはん濫が目前に迫った時や堤防が決壊した時に出され、すみやかな避難を呼びかける情報

土砂災害

地震の後、激しい雨や長雨の時など土砂災害に警戒を！
自宅が土砂災害危険箇所なのか「防災マップ」で確かめておきましょう！

自分が住んでいる場所が土砂災害の危険性がある人は危ないと感じたら
避難情報を待たずに避難しよう！

- 土砂災害危険箇所の近くに自分の住んでいるところがある
- 自宅が山や崖地に近い

土砂災害危険箇所は
「防災マップ」で確認

- 降雨の状況に注意！
 - ・雨が1時間に20mm以上になった
 - ・降り始めてから100mm以上になった

- 裏山や崖地の状態に注意！
普段と違う現象は起きてないか… ページ下の前兆現象を確認

危険を感じたら、
安全と思われる場所に避難！

土砂災害発生前の避難方法

時間がある場合

避難所へ近所の人と
一緒に避難

時間がない場合

(避難所が遠い、夜間や風雨で
避難所に向かうのは危険など)

避難所でなくても近くの安全な家など、
身の安全が守れる場所へ

緊急事態

家の中で斜面に一番遠い
2階の部屋へ移動
(最低限の危険回避を)

避難する前には連絡を！ ➡ 安全な服装で避難

雨が止んでも注意が必要

日頃から近くの崖地に注意を払って！

近くに崖地がある地域では、日頃から崖地の様子に注意し、前兆現象や異常現象にいち早く気づき、
自主避難することが重要です

崖崩れの前兆現象

地すべりの前兆現象

土石流の前兆現象

避難情報を入手した場合

避難情報はあくまで参考情報として
危険を感じたら自分の判断で避難を！

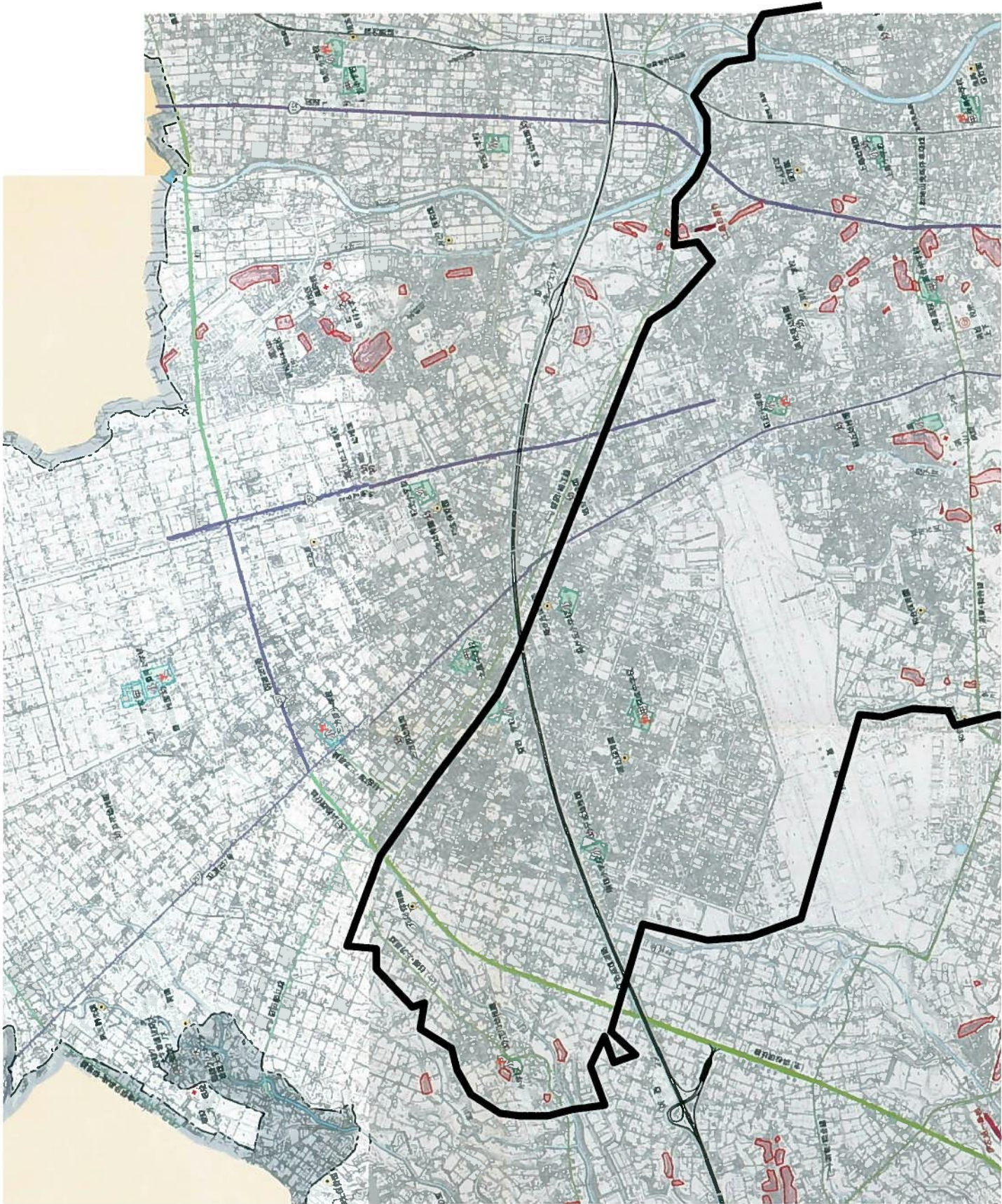
情報など	状 況	このように行動してください
情報収集	・大雨 注意報 が発令(静岡地方気象台)	・テレビ、ラジオ等により気象情報に注意する
	・大雨 警報 が発令(静岡地方気象台)	・崖地近くに住む人は、崖地周辺の異常な現象に注意する
避難準備情報	・土砂災害 警戒情報 が発表(静岡地方気象台、静岡県)	避難準備・自主避難 ・引き続き情報に注意する ・崖崩れや河川の氾濫などに気がついた場合には区役所や消防署に通報する ・避難準備をする ・避難に時間を要する人は避難所へ避難を開始する
避難勧告	・	・
避難指示	・	・

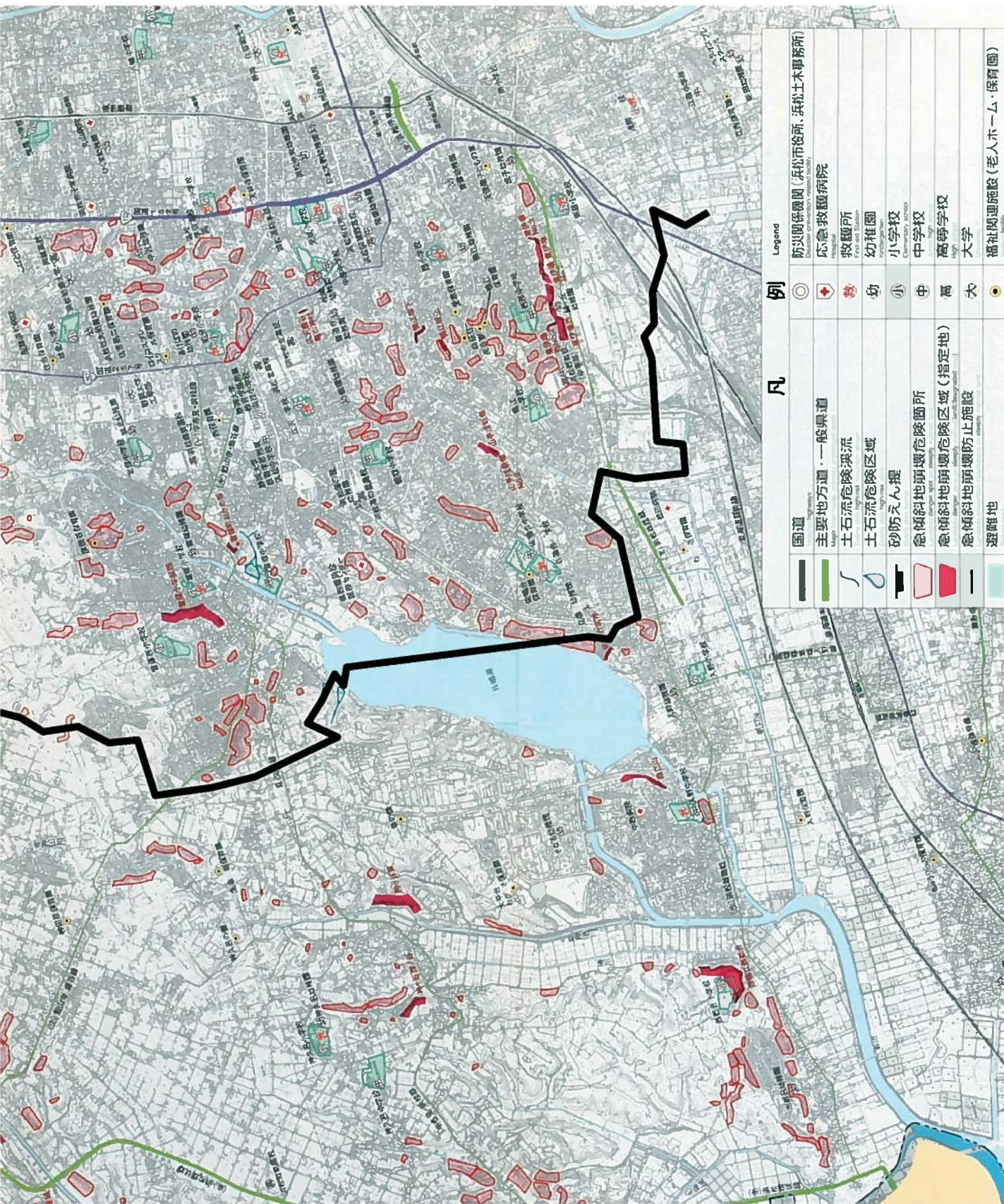
危険

崖崩れや河川の氾濫などを発見したら

連絡先

土砂災害危険箇所

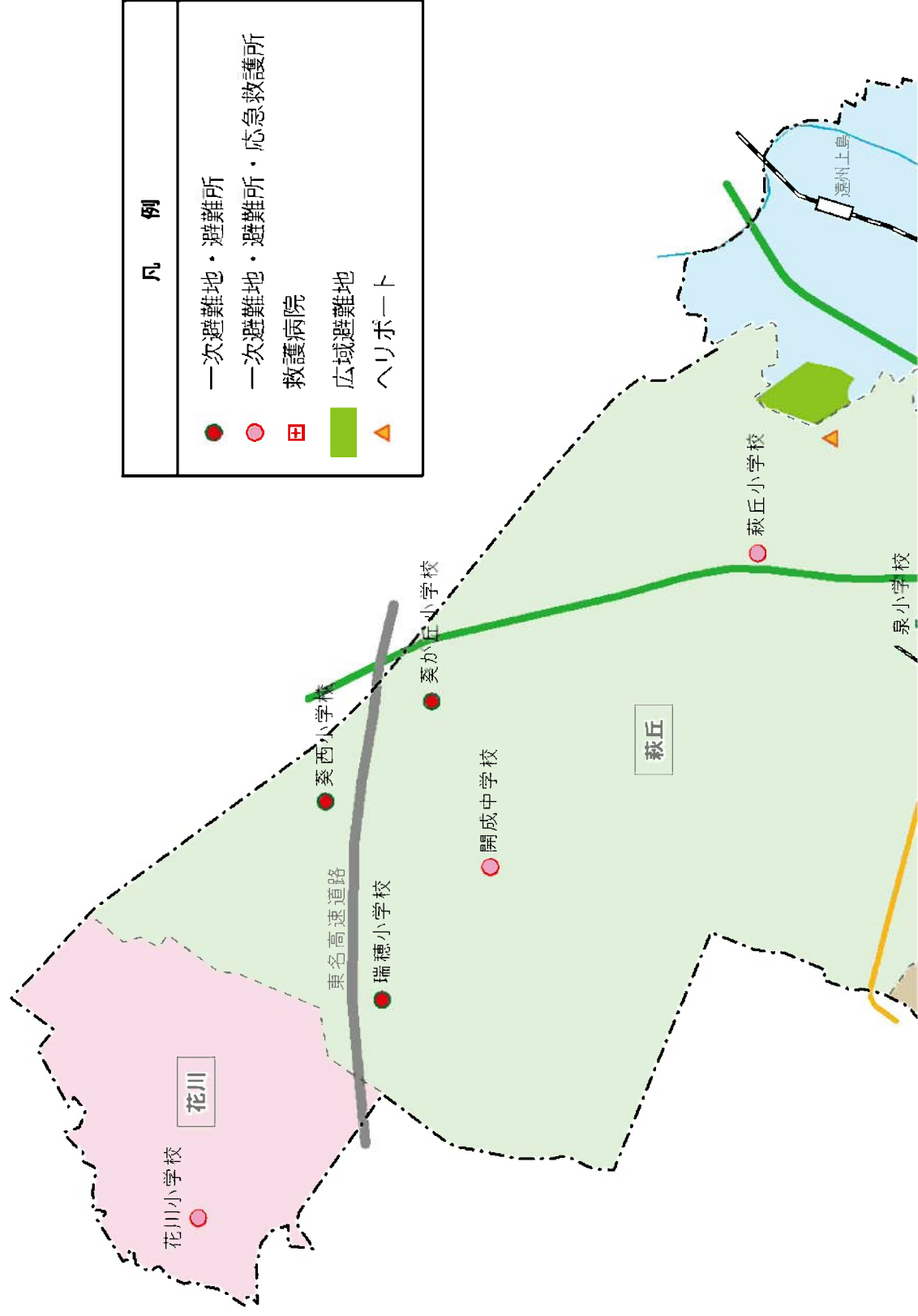


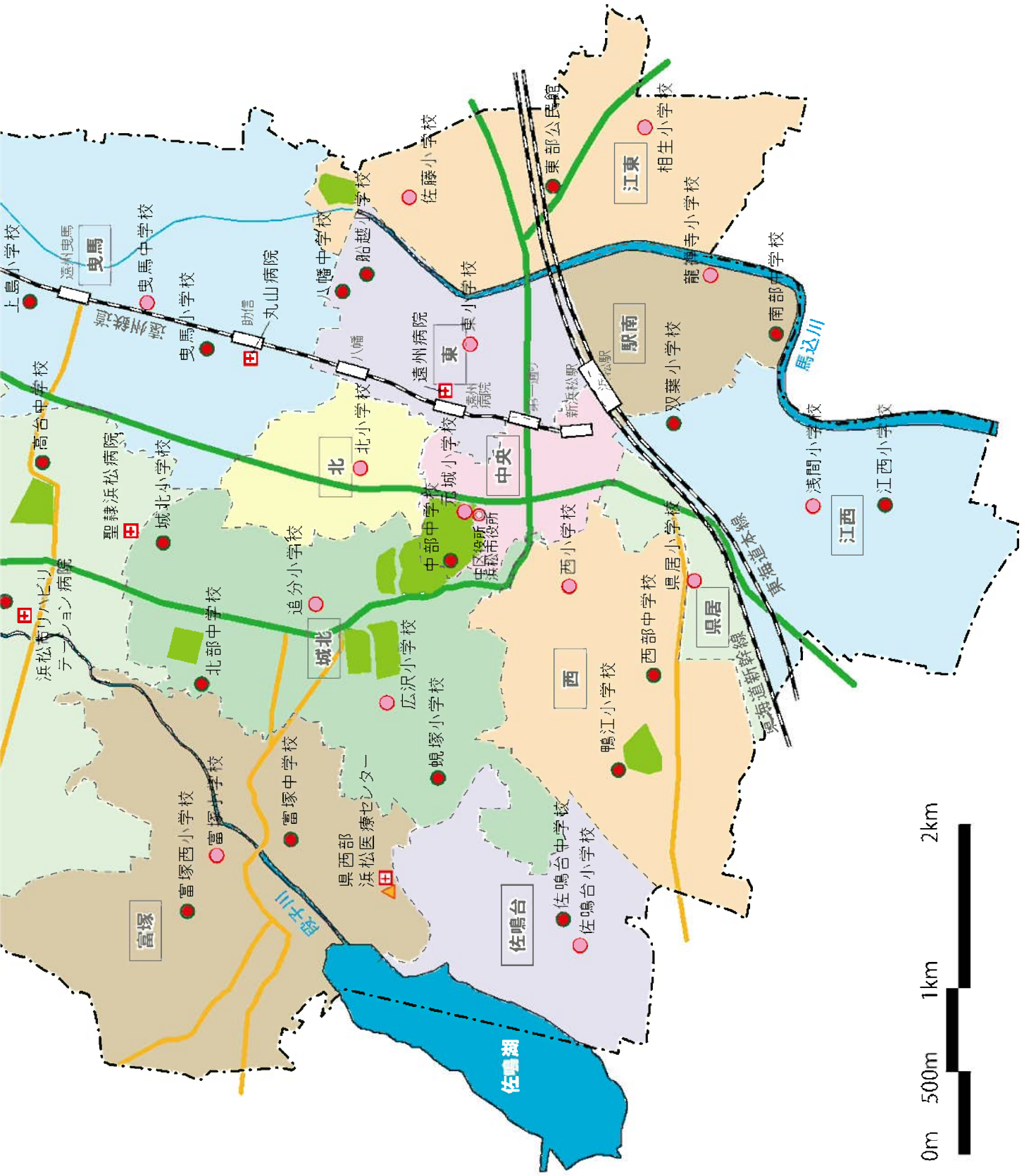


Legend	
国道 National Route	防火関係機関 (浜松市役所、浜松土木事務所) Fire and Disaster Management Agency (Hamamatsu City Office, Hamamatsu Civil Engineering Office)
主要地方道・一般県道 Main Prefectural Road / General Prefectural Road	応急救護病院 Emergency Medical Center
土石流危険渓流 Landslide Hazard Stream	救護所 First Aid Station
土石流危険区域 Landslide Hazard Area	幼稚園 Nursery School
砂防元人堤 Sand Protection Weir	小学校 Elementary School
急傾斜地崩壊危険箇所 Steep Slope Landslide Hazard Point	中学校 Junior High School
急傾斜地崩壊危険区域 (指定地) Steep Slope Landslide Hazard Area (Designated Area)	高等学校 High School
急傾斜地崩壊防止施設 Steep Slope Landslide Prevention Facility	大学 University
避難地 Evacuation Area	福祉関連施設 (老人ホーム・保育園) Welfare-related facilities (Nursing Home, Daycare Center)

中区 防災施設マップ

- ・ 普段から地震、風水害、土砂災害の際の避難場所を考えておきましょう。
- ・ 巻末に折り込まれている拡大図面も併せて参照してください。





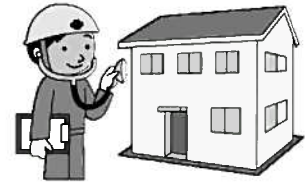
●建物や塀の備え

建物の耐震化 浜松市プロジェクト TOUKAI（東海・倒壊）－〇総合支援事業



□ **ステップ1：専門家による無料耐震診断**

- ・希望者に「静岡県耐震診断補強相談士」を無料で派遣し、簡単な耐震診断を行っています。
- ・ご希望の方は電話で建築行政課までお申し込みください。



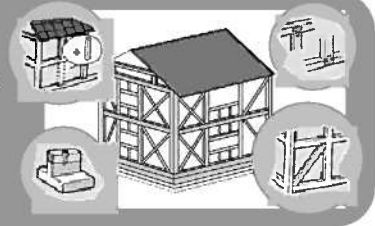
ステップ2：補強計画の作成

耐震補強工事に必要な補強計画を作成します。
補強計画を作成するための費用に対し補助制度があります。



ステップ3：耐震補強工事

作成した補強計画に基づき、適切な耐震補強工事を行います。
耐震補強工事に必要な費用に対し補助制度があります。



ブロック塀の安全チェック



□

チェック①

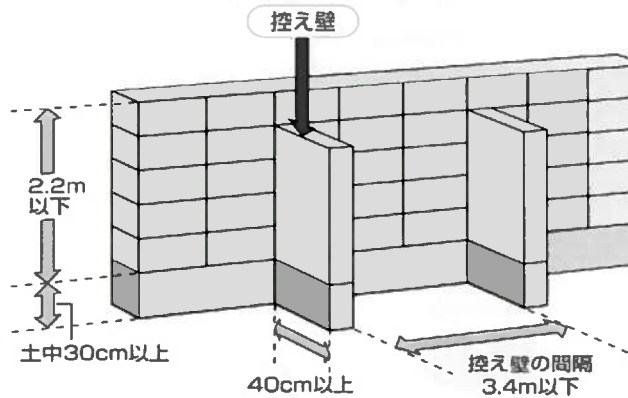
高さは2.2m以下になっているか。

チェック②

基礎コンクリートは30cm以上埋め込まれているか。

チェック③

ひび割れ、傾きなどはないか。
鉄筋がさびていないか。



チェック④

支えとなる控え壁は、3.4m以下の間隔で設けてあるか。
長さは40cm以上あるか。

チェック⑤

直径9mmの鉄筋が縦横とも80cm以下の間隔で入っており、しっかりと固定されているか。

手作り防災カード（裏面）

→切り離して利用する

手作り防災カード（裏面）

防災マップ

（折込）

→家の目立つ所に貼っていただく

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）

手作り防災カード（表面）